

特定非営利活動法人

あいちNPO市民ネットワークセンター

第16回 通常総会

議案書



NPO法人 あいネット
with 東北・熊本

日時：2017年6月21日(水)

10:00～

場所：NPO 法人

あいちNPO市民ネットワークセンター事務所

議 事 次 第

1. 開会あいさつ

2. 議長などの選任

① 議長の選任及び議長あいさつ

② 書記・議事録著名人の選任

3. 総会成立の確認（出席 人、委任状 人、計 人） 会員数 人

4. 議事

- | | | |
|-----------|-------------------|---------|
| (1) 第1号議案 | 2016年度事業報告の承認について | P 1~9 |
| (2) 第2号議案 | 2016年度決算の承認について | P 10~12 |
| (3) 第3号議案 | 2017年度事業計画の議決について | P 13~15 |
| (4) 第4号議案 | 2017年度予算の議決について | P 16 |
| (5) 第5号議案 | 理事の選任について | P 17 |
| (6) 第6号議案 | 定款の変更について | P 17 |

6. 議長、議事録著名人の解任

7. その他

報告と意見交換

8. 閉会のあいさつ

・平成 29 年度 事業活動計画書

あいネット15年が過ぎました

あいネットが目標とする社会は、「大事なことは、人まかせにしない」・「自分でできることは自分です」・「夢の様な想いも、大勢の人の共感が得られ共に活動すれば実現できる」という社会や生活を自分の事として考え、そこにある問題に、きちんと向き合うことで実現する社会です。

その為に、あいネットでは取り組む生活のテーマを決め、そのテーマに対する事業の実施と社会の課題に市民活動で取り組んでいる、又は、取り組みたいと考えている団体や市民の支援をしようと、活動をスタートしました。

テーマに対する事業は、市民や団体の活動相談にのる、協働する為の環境づくりなど、市民のまちづくり参画や協働の実現を目指す事業、在宅で介護されている家族支援・市内の介護事業所訪問など、高齢者福祉の充実を目指す事業、子どもの自立と社会性を育む支援事業など委託を受けて実施してきました。

中間支援の事業は、相談などの委託事業での出会いをきっかけに、団体の設立支援・立ち上げ期の活動支援を行っていますが、行政や企業などと対等に活動するには、数も内容も不足している状況です。

今、社会はIT・AIの登場・進出によって日々、変化しています。人が生み出し、つくりあげる活動は、社会の中で足場を失っているようにもみえます。しかし、その社会の主人公は私たちです。

高齢化する社会、母親の孤立化、子どもの自立・社会性の希薄化など、家族や地域の形が変わる中、なんとかしなくてはいけない問題は増加し、結局人の関与する活動への期待が高まっています。

この様な社会状況の中、あいネットの目指す社会に向かう一歩として、担う役割や活動を整理していきたいと考えます。大きな課題としては、地域が心地よい居場所となる為の、市民の役割・地域の役割が十分に意識されて、動き出し活性化することが大切だと考えます。そこでのあいネットの役割と活動を考え、具体的なテーマ事業の充実をはかると共に、当事者感を共有する支援者としての、活動力をつけていきたいと考えます。一緒にもう少し歩んでいきましょう。よろしくお願ひします。

第1号議案 2016年度 事業活動報告に関する件

1. 活動のまとめ

これまでの活動を団体内で共有して、その評価のもと、必要な見直しを行なうとともに、市民活動団体の現状と活性化する為の課題検討をしました。

○事業活動での取り組み報告

- 市民のまちづくり協働事業（団体支援とネットワークづくり）
 - ・ 相談、団体支援については、みよし市の新しい補助金をはじめ、応募を検討する団体からの相談、支援。豊田市のNPO 団体対象補助金、共働事業関連の相談、審査などでの関わりを通し、団体の組織強化への支援を行ないました。
 - ・ まちづくり意識や役割の共有については、交流会を対象・テーマ・課題をより具体化して行ない、具体的な目標確認につながりました。
- 福祉事業（食文化の提示及び高齢者等の健康と生活を応援する）
 - ・ 在宅介護をされている家族の支援事業は、身近な話し相手と認識される状況がうまれてくる中、前回の在宅介護の状況調査から、約10年が経過することから、現状把握の必要性を感じ、調査提案を行ないました。
 - ・ 介護保険サービス事業の聞き取り相談事業については、目標となるサービス向上に向けて相談内容報告の分類、整理の検討をはじめました。

- 子どもの育ち支援事業（市民の自立を支援し、その自発的な協働活動の地域づくり）
 - ・ 開設4年目となることから子ども（小学生）達の社会的な育ちに施設がどのような存在となっているのか把握し、その在り方を検討していく為、来館する子どもにアンケートを行い、約120人の意見把握と分析ができました。
 - ・ 子どもの現状、意識を踏まえ、保護者意見の集約についても方向性を検討できました。

○組織と運営報告

- ・ 団体で実施している事業の評価を多角的に行ない又、関わるメンバーの横断的なつながりを目指し、月次で活動計画の見える化を検討しましたが、年間継続して実施できませんでした。
- ・ 事務局の作業についても、整理・分類が不十分で、役割分担が進みませんでした。

II. 事業報告

1 団体支援とネットワークづくり事業

○支出額 3,540,675円 ○収入額 3,686,408円

- ・ 団体からの相談、行政からの相談件数は昨年より共に増えました。
- ・ 団体からの相談は、活動の具体化や展開、補助金申請などが意識されて相談につながっています。ただし、相談時の内容については、これまでに比べ、初期の状態が多く、「思った」段階のものもあり、相談の意味・役割を考えさせられました。
- ・ 行政からの相談については、国からの提案があり、その実現を検討する中でのものなど、具体的な事業実施における、企画を含む検討の共有をしていく内容となっていました。
- ・ まちづくりがいろいろな対象・テーマをもとに展開される中で、市民活動の強みである横のつながりを活かせる、相談対応・ネットワークの必要性を実感しました。

(1) NPO 活動・協働のまちづくり相談及び市民活動推進事業（スタッフ2人）

1) 市民からの相談対応

定期相談と臨時相談での対応は、9件16回でした。

臨時相談については、市民活動サポートセンターでの対応が多くなりました。

■相談内容

件数	相談者・団体	内容	回数	補助金関連(※)
1	地域のまちづくり 子どもたちの演奏活動 (団体)	住民の地域への愛着づくり 目的の事業計画	5	○
2	子ども食堂の活動 (団体)	子ども食堂の事業計画	2	○
3	えきまえプロジェクト (団体)	イベントで地域のまちづくりと人材育成の事業計画	1	
4	NPO 法人自然環境保護池を活用した自然環境教育(団体)	教育計画と補助金申請書類の書き方	1	○
5	子育て支援事業経験を生かした母親支援 (個人)	事業計画と可能性について	2	○

6	公園の環境活動 (団体)	事業計画と補助金申請について	1	○
7	地域づくり活動 (個人)	がんばる地域応援補助金の可能性	1	○
8	地域を対象にした文化活動 (団体)	事業計画の整理と補助金申請書類の書き方	1	○
9	地域のねこの保護 (団体)	NPO 法人の設立について活動継続について	2	

※補助金関連とは、H28 年度から開始した「がんばる地域応援補助金制度」

- ・ 今年度は「がんばる地域応援補助金」ができ、9 件のうち 7 件が補助金きっかけでした。この内 4 件が補助金に応募して事業実施が決定。しかし、補助金に関連した活動とそうでない活動共に、計画する事業についての事前の調整・検討・活動が少ない団体が多く（5 団体）、目的を明確にするための問題の整理、活動内容の具体化が不十分で、活動の実現に不安な部分が多い点が気になりました。
- ・ 相談を利用して団体の活動力を向上させるには、相談する活動課題、目的、内容の検討と実施が一定程度された上で、その問題点が把握されていて有効な相談となります。相談に必要な状況の整理を、どの様に働きかけるかが課題。

2) 職員からの相談

■今年度相談を受けた課

保健センター	5 回
防災安全課	2 回
長寿介護課	1 回
協働推進課	2 回

■相談内容

- ・ 具体的な事業の実施計画についての相談。さらに、相談を受けた 4 事業は 1 事業が情報提供などの協力実施。2 事業は、平成 29 年度事業として実施することとなり、残る 1 事業も検討が継続。
- ・ ステークホルダーが市民である場合は、提供できる情報、協力できる活動が存在する可能性は大きいと考えられますが、具体的にどの事業がどうつながるのが理解されていないことも、大きいと感じられました。

(2) みよし市市民活動サポートセンター事業（スタッフ 5 人）

①受付サポート

○平成 28 年度は 7 月から施設のリニューアルにより、月曜日から土曜日まで受付・相談・支援の体制が始まりました。より多くの市民及び NPO の周知と、来場を目指しましたが、初年度は情報提供などの環境づくりにとどまりました。

○市民・NPO・地域活動団体の活動周知を図り、活動活性化の支援としての、情報交流および提供支援、公共を担う市民活動団体の活性化と団体間の交流を目的に市民活動団体交流会、市民や市民活動団体が市民活動サポートセンターに愛着をもち、市民活動の拠点となるような市民交流会を実施しました。

■実施内容

1) みよし市市民活動サポートセンター市民活動団体交流会

●市民活動サポートセンターに利用登録している団体への市民活動情報の提供。更に利用して市民活動が活性化するための意見交換を行ないました。

平成 29 年 3 月 16 日 (土)

○みよし市の市民活動の現状について報告、平成 28 年度の市民活動サポートセンター事業について報告した上で、部屋の利用状況と利用のルールを再度確認しました。その後、平成 29 年度の協働のまちづくり推進事業の説明と意見交換を行ないました。

2) みよし市市民活動サポートセンター交流会

●市民活動センターを知ってもらう、センターを使って情報発信すること、を 2016 年度の重点テーマとして取り組みました。

第 1 回 8 月 2 日 団体同士の交流と、行政職員の市民活動団体理解

○団体の自己紹介後、団体紹介のパネル展示に対して、質問・感想をポストイットで貼り、行政職員がそれを読み上げ Q&A 式にして、さらなる理解を深めました。

第 2 回 12 月 6 日 障がい児・者の災害時避難についての現状・課題を大学生と考える

○みよし市・障がい児・者の活動を行う団体から話題提起をした後に、課題を整理し、どんな配慮や対策を考えられるかを大学生・団体・行政職員が混ざったテーブルで議論しました。

② サポートセンターニュースの発行

1) サポセンニュースの発行

市民活動サポートセンターニュースの企画と発行を行ないました。市民・市民活動団体に市民活動サポートセンターを知って来て頂く、市民活動を理解して頂くために、市民活動サポートセンターの活動情報を発信する「サポセンニュース」を年 3 回発行しました。

回	発行月	内容
1	平成 28 年 9 月	・ 7 月からの市民活動センターの役割、機能、使い方の紹介 ・ 協働推進課長のあいさつ
2	平成 29 年 1 月	・ 第 2 回市民交流会の内容報告「障がいのある人の防災不安と対応」 ・ 市民活動団体の団体紹介情報提供のお願い
3	平成 29 年 3 月	・ 第 3 回市民交流会の内容報告「みよしの居場所発見」 ・ 市民活動団体交流会の報告「みよしの市民活動について」

■内容

- ・ 7 月から生涯学習課がサンライブへ移転し、市民活動のサポートセンターの機能が拡大しました。新しくなった市民活動サポートセンターの機能を有意義に使用して頂くことと、市民や市民活動団体が市民活動サポートセンターに来るきっかけづくり、市民活動団体の活動共有を考え、市民交流の内容を中心にニュースを作成しました。

2) 情報発信ラックの管理・掲示板の管理・団体情報ファイルの整備

a. 情報発信ラックの管理

■内容

- ・ みよし市で活動している市民活動団体の活動チラシ、行政からのお知らせ、社会福祉協議会、文化センターサンアート等、市内の活動情報・他市の行政・市民活動団体からのお知らせを「活動テーマ別」に整理を行い、わかりやすさ・手に取りやすさを工夫して配置しました。

■課題・今後に向けて

- ・ 現在は多様な情報が混在している状況もあります。来館する市民の情報へのニーズを把握したうえで改善が必要です。

b. 掲示板の管理

■内容

- ・ 玄関スペース・交流スペース・印刷作業室前・印刷作業室内のそれぞれの掲示板を場所の特性を踏まえ、掲示内容を区分して管理しました。

掲示場の場所	掲示内容・期間
玄関スペース	みよし市で行われるイベント・講習を中心に2か月前を目安に掲示
交流スペース	市民活動団体の団体紹介シートを2月市民交流会の後、分野別の表示をつけて掲示（団体紹介情報の提供団体）
印刷作業室前	愛知県・国からのポスターを中心に掲示
印刷作業室内	市民活動サポートセンター登録団体の活動チラシ・サポセンニュースの掲示

c. 団体情報ファイルの整備

■内容

- ・ 市民活動団体の情報は登録団体のファイルを設置。基本情報のシートを作成し、記載内容の提供と日頃の活動情報の提供を呼びかけました。呼びかけに応え、5団体が対応していただきましたが、こちらからの声かけがさらに必要であると感じました。
- ・ 地域コミュニティの団体情報は、コミュニティの区割・構成する行政区を示した地図の設置と団体ファイルを設置しました。情報はコミュニティで開設されているホームページから提供しました。

■課題・今後に向けて

- ・ 市民活動団体・コミュニティ団体共にファイルの存在アピールが課題となりました。求められる情報、伝えたい情報を分析して充実していく必要があります。

3) NPOの強化・職員研修・協働のまちづくりのための人材育成講座等の実施と支援（スタッフ3人）

- ・ 地域の拠点施設の役割・機能を検討する住民ワークショップを行政からの依頼を受け実施（2回）
- ・ 新人職員の協働研修を実施

2 暮らしの知恵と工夫を磨く手助けとなる情報の発信事業

○支出額 138,440円 ○収入額 122,958円

- ・ 今年度も事業に関心のある方、関係のある方への周知や共有を目的に3つの事業ニュースと団体ブログを発信しました。

(1) 情報発信事業

① ブログの発信・あいネットニュース（スタッフ3人）随時

団体のテーマ（食・教育・福祉・労働・健康・環境・情報）に沿った暮らしにつながる情報発信を活動から取り出して行いました。

② さろんにゅーす（スタッフ3人）月1発行

市民・高齢者の地域生活と在宅介護を支える情報の発信を、介護の必要な方を介護してみえる家族の「交流サロン」の内容を中心に行ないました。

③ こどもニュース（スタッフ3人）月1発行

子どもの居場所、子ども基地の活動内容を対象の小学生に伝えると共に、地域に活動の理解・共有をしていただくため、情報発信しました。

※その他、サポートセンターニュース（みよし市）を発行。内容は4ページ掲載。

3 市民自立を支援し、その自発的な協働活動による地域づくり事業

○支出額 7,769,667円 ○収入額 11,538,800円

小学校の子ども達の生き抜く力を、日常の中で体験や実感を通して、向上していく支援の4年目の評価を子ども達にアンケートをとり実施しました。比較的良好に利用している子ども達からは“あいさつ”“片付け”など「出来ている」という回答が9割くらいとなり、スタッフからは疑問の声もありましたが、反面、自己を評価しようという傾向があることは良い状況だとも考えられます。

ある程度の関わりが持てれば、家庭・学校とは違った子どもの居場所として役割が發揮できることが確認できました。

(1) 子どもの居場所づくり(豊田市) (スタッフ18人)

小学生に対して、1年間を通して安定した居場所を地域の中に提供し、子どもの育ちを支援しました。地域とのネットワークづくりを目指し、学校・地域の交流館に「こどもニュース」等で情報提供を行いました。昨年につづき、子ども達へ居場所の大掃除を提案し、約25人が参加しました。

居場所を利用した子どもは、昨年度と比較すると1,897人増えました。登録人数も84人増えています。慣れた子ども達が登録しない傾向がみられました。

今年度は4年目となることから、子ども達にアンケートを行ない、子ども基地での様子・意識の把握を実施しました。

○利用者数 9,671人

4月711人、5月560人、6月558人、7月1,142人、8月902人、9月1,040人、10月1,022人、11月746人、12月783人、1月521人、2月621人、3月1,065人

○登録者数 356人

4月131人、5月44人、6月22人、7月49人、8月25人、9月26人、10月19人、11月12人、12月17人、1月2人、2月5人、3月4人

○広域活動の推進活動

・サンデーシアター 月1回

地域の方に居場所の存在を知っていただき、子ども達の見守りに協力いただききっかけづくり。

・運動クラブアニマルくん 年4回(月2回で3か月) 定員20人 参加人数平均19人

日常の行動における危険に備えられるような身体能力の向上を目指し、NPO法人アニマル体操クラブに依頼し、協働で年4回実施。

・生活科学実験室 土曜日 13:00~16:00 (月3回)

暮らしの中にある科学を体験・実感する活動を実施。

(2) 防災活動

「NPO.災害から守り隊」とみよし市での中期的な活動の検討と、先進活動の見学を行ないました。

地震への危機意識を持ち、自助・互助など備えの必要性を実感していくための、現状確認・課題整理を行ないました。

4 食文化の提示及び高齢者、障がい者等の健康と生活するための事業

○支出額 3,289,597円 ○収入額 3,330,184円

介護用品の配布を始め、10年以上が経過、在宅介護の状況は介護保険サービスにより、改善されてきていますが、その中で新しい総合事業など、制度変化も始まり、在宅介護に対する家族の方の現状はどうか、把握の必要性がでてきました。

(1) 高齢者の在宅介護を支援する活動、介護保険制度サービスの充実を目標とする活動(みよし市) (スタッフ7人)

介護が必要となっても在宅で生活していくには、家族の健康など受け入れ状況が重要なことから、声かけなどを行ない、話し相手としての役割を意識しました。

① 介護用品配布事業 (スタッフ6人)

- 〈目的〉 在宅介護に必要な用品を届けることで、介護にかかる家族の負担を軽減すると共に、在宅で介護する家族の見守り支援を行い、在宅介護の継続を支援する
- 〈対象〉 要介護3～5と認定された方で、在宅で介護を受けている方
- ・紙おむつ・尿取りパッド等を支給(月1回)、家族介護者の状況把握と支援
 - ・28年度配達件数 延べ 1,177件
- 〈内容〉 4月95件、5月91件、6月83件、7月91件、8月97件、9月100件、10月98件、11月101件、12月106件、1月105件、2月104件、3月106件

② 家族介護者交流事業 (スタッフ6人)

- 〈目的〉 介護情報の提供と介護をされている方がリフレッシュする場・交流する場を提供することで家族介護の支援による在宅介護の向上・継続を目指す。
- 〈対象〉 要介護・要支援認定を受けている高齢者を家族で介護している方
- ・地域サロンの開催(月1回)
介護情報の提供と介護技術を学ぶ
介護者のリフレッシュと介護者同士の交流
 - ・ミニサロンの開催(月1回)
気軽な相談、交流、情報提供
 - ・さろんにゆーすの発行

■地域サロン実施報告 (サロン実施12回・さろんにゆーす発行12回)

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の方を対象としたサロンです。

実施日	内容	内容詳細	参加人数
4月20日(水) 10:30~12:30	介護サービスの学習 とリラックス	・具体的な介護サービスの内容について教えていただく。 ・軽食を食べながら、おしゃべりをした。	9名
5月11日(水) 10:30~12:30	パッククッキング 「楽しく食事づくり」	・手をかけなくても美味しくできる食事を電気ポットを使い作った。ロールキャベツ・蒸しパン	4名
6月8日(水) 10:30~12:30	口腔ケアで健康作り	・歯周病の原因・対策について、教えていただいた。 ・歯ブラシの選び方・磨き方・クイズで確認した。	5名
7月13日(水) 10:30~12:30	排泄ケア	・オムツの選び方、使い方、動きを妨げない付け方を学ぶ。 ・高齢者の状態に合わせたオムツの情報と使い方、実践。	4名
8月10日(水) 10:30~12:30	在宅介護の 見守りについて	・在宅介護をしていて困ったことや疑問を話し合った。 ・包括支援センターの区域について確認した。	3名

9月14日(水) 10:00~15:00	食事を 楽しむ工夫	・介護する人、される人にやさしく出来る食事を紹介した。 ・電子レンジで作ったものを試食していただいた。	4名
10月12日(水) 10:30~12:30	さんQ体操 パート3	・脳と身体を衰えさせない運動をボール・お手玉を使った手遊びと二重課題の体操を教えていただく。	4名
11月9日(水) 10:30~12:30	介護法を プロから学ぶ	・ベッドからの起き上がり介助の仕方を学び、体験を通し、自宅での介護方法への生かし方を確認した。	8名
12月14日(水) 10:00~14:00	施設見学	・愛知三愛福祉会の理念、方針をお聞きし、毎日のケアに活かされている様子を伺った。 ・特養のぞみ・テイさんあいを見学させていただいた。	7名
1月11日(水) 10:30~12:30	リラックス体操 小物づくり	・体をほぐす体操やストレッチを教えていただく。 ・からくりカレンダー作り、紅白の変わり鶴を折った。	7名
2月8日(水) 10:30~12:30	Keiko&Kouji ミニコンサート	・Keikoさんの介護体験をお聞した後、懐かしい歌や手拍子が打てる歌などをお聴きした。	12名
3月8日(水) 10:30~12:30	「春のリース作り」と 「1年の振り返り」	・シサルとガーベラを使ったリースを作った。 ・1年の振り返りをし、参加者の声をお聞きした。	5名

参加人数 72名

■ミニサロン実施報告

地域サロンのミニ版として、主に参加者の交流・相談を中心に2か所で交互に月1回実施しました。
福谷老人憩いの家(6回)・三好ヶ丘交流センター(6回)

三好ヶ丘交流センター	福谷老人憩いの家
4月26日(火)10:30~12:00	5月26日(木)10:30~12:00
6月28日(火)10:30~12:00	7月28日(木)10:30~12:00
8月23日(火)10:30~12:00	9月29日(木)10:30~12:00
10月25日(火)10:30~12:00	11月24日(木)10:30~12:00
12月27日(火)10:30~12:00	1月26日(木)10:30~12:00
2月28日(火)10:30~12:00	3月23日(木)10:30~12:00

③ 介護相談員派遣事業 (スタッフ5人)

- 介護保険サービスの質の向上と利用者の権利擁護を施設・事務所に入所、利用している本人、家族、スタッフの相談や話を伺い整理をして、行政に報告。
- <目的> 市民の視点での訪問活動を実施しました
- <対象> みよし市内の行政から指定を受けた介護事業所など
- ・介護サービスの現場に定期的に訪問して、利用者・家族の方、職員の方の話を聞き取り報告書作成
 - ・行政との協議会の実施(月1回)相談内容の整理・検討
 - ・施設、事業所各グループとの交流会の実施
 - ・個別施設との交流会
 - ・訪問活動に必要な研修の実施
 - ・介護相談員運営会議開催(月3回)
 - ・新たな相談員養成研修(新人)
- <内容>

III 組織運営報告

(1) 総会の開催

第15回 総会

〈日時〉 平成28年6月20日(月) 13:15~14:45

〈会場〉 あいちNPO市民ネットワークセンター事務所

〈議事〉 平成27年度の事業報告及び決算の承認
平成28年度の事業計画及び予算の決定

(2) 理事会の開催

日時	議題
4月28日(木) 13:00~16:00	・総会議案の検討 平成28年度事業報告・決算 平成29年度事業計画・予算
9月26日(月) 13:30~16:00	・事業の進捗管理、検討 ・事業課題の整理 ・平成29年度事業の方向性について
12月19日(月) 13:30~16:00	・今年度の事業評価、問題・課題の整理 ・来年度事業計画の検討
1月30日(月) 13:30~	・平成28年度決算のポイント整理
3月22日(水) 14:00~	・平成29年度事業計画と予算検討

(3) 団体会員：正会員20人、賛助会員20人を目標に活動を行いました

4月30日現在 正会員：個人18人 賛助会員：14人

(4) 組織会議の開催【月2回を基本に実施】

組織運営と事業実施の実施企画の検討・進行管理を行いました。

(5) 各事業運営会議、事務局運営会議【随時】

事業毎に事業の月次執行に必要な検討を行い、事業を実施しました。

活動計算書

平成 28年 5月 1日 から平成 29年 4月 30日 まで

特定非営利活動法人 あいちNPO市民ネットワークセンター
(単位: 円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	90,000	
賛助会員受取会費	42,000	132,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	60,000	60,000
3. 事業収益		
行事参加費収入	51,650	
委託事業収入	19,643,574	19,695,224
4. その他収益		
受取利息	181	181
経常収益計		19,887,405
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,834,450	
通勤費	540,010	
福利厚生費	13,007	
人件費計	12,387,467	
(2) その他経費		
諸謝金	239,500	
印刷製本費	3,530	
旅費交通費	238,200	
弁当代	66,783	
通信運搬費	429,500	
消耗品費	264,006	
地代家賃	420,000	
租税公課	729,300	
支払手数料	52,218	
雑費	68,533	
その他経費計	2,511,570	
事業費計		14,899,037
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	1,772,300	
通勤費	255,140	
福利厚生費	13,624	
人件費計	2,041,064	
(2) その他経費		
印刷製本費	2,490	
会議費	3,466	
旅費交通費	131,800	
教育研修費	55,466	
通信運搬費	215,516	
消耗品費	253,858	
地代家賃	60,000	
減価償却費	13,333	
保険料	38,138	
諸会費	10,000	
租税公課	33,607	
支払手数料	32,130	
諸謝金	344,520	
雑費	22,816	
その他経費計	1,217,140	
管理費計		3,258,204
経常費用計		18,157,241
当期経常増減額		1,730,164
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,730,164
当期正味財産増減額		1,730,164
前期繰越正味財産額		9,146,596
次期繰越正味財産額		10,876,760

貸借対照表

平成 29年 4月 30日 現在

特定非営利活動法人 あいちNPO市民ネットワークセンター

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,457,853		
未収金	1,016,874		
流動資産合計		12,474,727	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	146,667		
有形固定資産計	146,667		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		146,667	
資産合計			12,621,394
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,301,800		
未払消費税等	356,100		
仮受金	5,985		
預り金	80,749		
流動負債合計		1,744,634	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,744,634
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,146,596	
当期正味財産増減額		1,730,164	
正味財産合計			10,876,760
負債及び正味財産合計			12,621,394

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費及び管理費の内訳

(単位：円)

科 目	事業費				事業費計	管理費	合計
	NPO支援、ネット ワークづくり事業	暮らしの知恵と工夫を 磨く情報の発信事業	市民自立支援事業	食文化提示、高齢者・ 障害者応援事業			
I 経常収益							
1. 受取会費							
正会員受取会費	0	0	0	0	0	90,000	
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	42,000	
2. 受取寄附金							
受取寄附金	0	0	0	0	0	60,000	
3. 事業収益							
行事参加費収入	0	0	9,800	41,850	51,650	0	
委託事業収入	3,686,408	122,958	11,529,000	4,305,208	19,643,574	0	
4. その他収益							
受取利息	0	0	0	0	0	181	
経常収益計	3,686,408	122,958	11,538,800	4,347,058	19,695,224	192,181	19,887,405
II 経常費用							
1. 人件費							
給料手当	2,872,480	108,000	6,493,400	2,360,650	11,834,450	1,772,300	13,606,750
通勤費	139,120	4,420	236,160	160,310	540,010	255,140	795,150
福利厚生費	0	0	13,007	0	13,007	13,624	26,631
人件費計	3,011,520	112,420	6,742,567	2,520,960	12,387,467	2,041,064	14,428,531
2. その他経費							
諸謝金	0	0	199,500	40,000	239,500	344,520	584,020
印刷製本費	60	2,020	180	1,270	3,530	2,490	6,020
会議費	0	0	0	0	0	3,466	3,466
旅費交通費	71,000	0	34,800	132,400	238,200	131,800	370,000
弁当	0	0	0	66,783	66,783	0	66,783
通信運搬費	110,500	12,000	47,600	259,400	429,500	215,516	645,016
消耗品費	55,100	12,000	112,036	84,870	264,006	253,858	517,864
地代家賃	156,000	0	120,000	144,000	420,000	60,000	480,000
減価償却費	0	0	0	0	0	13,333	13,333
保険料	0	0	0	0	0	38,138	38,138
諸会費	0	0	0	0	0	10,000	10,000
租税公課	136,505	4,553	427,274	160,968	729,300	33,607	762,907
教育研修費	0	0	0	0	0	55,466	55,466
支払手数料	0	0	52,218	0	52,218	32,130	84,348
雑費	0	0	33,520	35,013	68,533	22,856	91,349
その他経費計	329,165	30,573	1,027,128	924,704	2,511,570	1,217,140	3,728,710
経常費用計	3,540,685	142,993	7,769,695	3,445,664	14,899,037	3,258,204	18,157,241
当期経常増減額	145,723	△ 20,035	3,769,105	901,394	4,796,187	△ 3,066,023	1,730,164

3. 財産目録

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
手許現金	244,710
三菱東京UFJ銀行	2,954,153
ゆうちょ銀行	19,219
JA三好	7,089,771
定期預金	
JA三好	1,150,000
未収金	
みよし市	1,016,874
流動資産合計	12,474,727
2. 固定資産	
(1) 有形固定資産	
パソコン	146,667
有形固定資産計	146,667
(2) 無形固定資産	
無形固定資産計	0
(3) 投資その他の資産	
投資その他の資産計	0
固定資産合計	0
資産合計	12,621,394
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	
従業員給与他	1,301,800
未払消費税等	356,100
仮受金	5,985
預り金	
源泉所得税、住民税	80,749
流動負債合計	1,744,634
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	1,744,634
正味財産	10,876,760

第3号議案 2017年度事業活動計画に関する件

I 活動方針

5年後の「市民参画のまちづくり」ビジョンを検討し、活動します。

ビジョンと中期活動計画を2017年、2018年で作成していきます。

1. 活動の充実と安定した活動に向けた、仕組みと体制をつくる為に3年間の研修・事業評価を行ないます。

研修を3年継続させることで、団体の活動力を充実させると共に、周辺地域のまちづくりを担う人の環境づくりやスキル確保・養成を進めます。

有効な人材養成の要素と活動の仕組みを検討します。

2. 新たな社会変化をとらえ、その中でも一人一人がその人らしく暮らしていける、社会の仕組みづくりを検討し、提案・必要性和力量をはかり、取り組みます。

3. 組織運営の基盤を見直し、整備します。

事業運営：事業内容を整理し、事業スタッフと事務局スタッフの連携充実を図ります。

会議運営：各会議の役割を整理し、相互の連携と機能を高めていきます。

組織管理：事業の実施状況を把握・検討するための管理方法を検討し、充実を図ります。

II 事業計画

1 団体支援とネットワークづくり事業

- ・ 市民活動の役割・目的を確認し、団体・市民が公益性や社会貢献を意識する働きかけを検討し、対応します。
- ・ 相談についても、個人が「したい」と思い、相談、というパターンが増えています。個人の想いを大事にしなが、同時にその想いの先にある活動が、公益性のあるものか判断して、対応することが必要になっています。

実施事業

(1) NPO活動・協働のまちづくり相談及び市民活動活性化事業

- ①市民・NPO・地域活動団体が公益活動を進める支援や協働によるまちづくりに向けた活動の相談支援の実施を行政の委託と自主事業で実施します。

- ②市民活動団体設立・活動支援のサポート

(2) みよし市市民活動サポートセンター運営

- ①受付サポート

- ②市民・NPO・地域活動団体の活動周知を図り、活動活性化の支援としての情報交流、及び提供を行ないます。

- ③サポートセンターニュースの発行

(3) 研修・交流会

2 暮らしの知恵と工夫を磨く手助けとなる情報の発信事業

・目まぐるしく変化する社会・地域の状況や市民生活に関わる制度などを生活に活用するには、“知ること”“わかること”が大切になります。しかし、それらの情報取得に弱い方も多いことから、「おぎなう」情報発信を検討していきます。

実施事業

(1) 情報発信事業

① ブログ発信・あいネットニュース

- ・団体のテーマに沿った情報発信・市民のまちづくりへのきっかけづくり

② さろんにゅーす

- ・市民・高齢者の地域生活を支える情報の発信

③ こどもニュース

- ・子ども基地の活動を小学生に伝え、地域で行う見守り支援の共有のための情報発信

3 市民自立を支援し、その自発的な協働活動による地域づくり事業

今後更に様々な社会変化が予測されます。その都度、私たちは、自己責任を持って判断するしかありません。市民意識を持ち、判断して生きていく力をつけると共に、それらの市民の協働活動を地域に広げていくことを目標に、今年度は子ども達と防災に関わる住民を対等に活動します。

実施事業

(1) 逢妻子どもの居場所づくり（スタッフ18人）

- ・居場所づくりを通して、子どもの自立支援や社会性を身につける支援を目指します。
- ・安定して実施できる体制の確立と共に、来館する子どもの現状把握・地域との連携の調査などを行います
- ・子ども達が生活、社会を身近に捉え、興味をもち考えるきっかけをつくる、体験や学びの機会を設定していきます。
- ・昨年の子どもアンケートをもとに、居場所の役割・機能を充実していく為に保護者にアンケートを行ないます。

(2) 地域の防災活動支援（スタッフ7人）

- ① 地域防災の担い方、問題から課題意識を絞り行動計画の検討
- ② 地域防災支援活動：自助を意識する住民ワークショップの実施
- ③ 地域防災支援活動：地域力の育成ワークショップ

(3) やっぱり公民館

- ・研修の実施

4 食文化の提示及び高齢者、障がい者等の健康と生活を応援するための事業

誰でも健康で安定した生活を望みます。そのためには、食は重要なテーマの一つです。高齢者・子ども・産後の母子への健康・生活を応援していく活動を食の提案・実践活動と共に行ないます。

実施事業

(1) 高齢者の地域福祉事業（スタッフ7人）

- ・介護が必要になった高齢者の在宅生活を支援する活動に取り組みます
- ・高齢者になっても、地域で安心して暮らせる仕組みについて検討を行ないます。
 - ① 介護用品配布及び在宅介護の状況把握調査アンケートの実施
 - ② 家族介護者交流
 - ③ 介護相談員派遣

(2) 子ども・母親の生活福祉（スタッフ7人）

- ① 産後母子支援
- ② 子ども、地域への多様な食育活動 — やっぱり公民館の事業として
 - ・子ども・地域の多様な食の課題に提案と活動を行ないます。
 - ・「バッククッキング」を活用し、食への関心を高め、食の自立を支援します。
 - ・食は、健康に不可欠な要素であることから、テーマ・対象を超えて展開していきます。

III 組織運営

- ・理事会の役割を整理して検討を充実します。
- ・会員と運営メンバーの活動目的の共有のため、研修を実施します。
- ・各事業の活動情報を整理して、目的の達成度を評価します。
- ・活動状況をわかりやすく整備し、会員・市民と共有できるよう工夫します。

(1) 理事会の開催 年4回の開催を予定します

(2) 団体の会員 正会員 個人20人・団体2団体
賛助会員 個人20人 を目標に活動します

(3) 各事業運営 事業担当スタッフと組織スタッフの役割を再度整理して円滑な事業実施を目指します

(4) 事務局運営 新たなスタッフも含め、組織スタッフによる事業の安定化を図ります

(5) 組織運営 事業状況の年度を超えて検討し、課題の設置と対応の検討を行います

(6) 他団体との連携活動 課題に対する分析・検討を多角的に行い、対策の広がりをもてるよう、他団体やアドバイザーとの連携・協力を進めます
スタッフの事業理解と活動スキルを向上できるよう、研修を他団体と連携して実施します。

第4号議案 2017年度予算に関する件

平成 29年 5月 1日 から平成 30年 4月 30日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	120,000	
賛助会員受取会費	60,000	180,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	70,000	70,000
3. 受取助成金等		
受取助成金	0	0
4. 事業収益		
行事参加費収入	60,000	
委託事業収入	25,000,000	25,060,000
5. その他収益		
受取利息	0	
雑収益	0	0
経常収益計		25,310,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	16,342,000	
通勤費	686,000	
福利厚生費	20,000	
人件費計	17,048,000	
(2) その他経費		
諸謝金	600,000	
印刷製本費	15,000	
旅費交通費	302,000	
弁当代	100,000	
通信運搬費	545,000	
消耗品費	335,000	
地代家賃	420,000	
租税公課	954,000	
支払手数料	66,000	
雑費	100,000	
その他経費計	3,437,000	
事業費計		20,485,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	2,400,000	
法定福利費	200,000	
通勤費	300,000	
福利厚生費	25,000	
人件費計	2,925,000	
(2) その他経費		
印刷製本費	20,000	
会議費	10,000	
旅費交通費	200,000	
教育研修費	400,000	
通信運搬費	250,000	
消耗品費	250,000	
地代家賃	60,000	
減価償却費	30,000	
保険料	40,000	
諸会費	55,000	
租税公課	50,000	
支払手数料	45,000	
諸謝金	450,000	
雑費	40,000	
その他経費計	1,900,000	
管理費計		4,825,000
経常費用計		25,310,000
当期経常増減額		0

第5号議案 理事の選出について

理事 新谷 千晶
江口 このみ
伊東 浄江
釘宮 順子
長山 恭子

監事 河井 明美
岩田 一幸

第6号議案 定款の変更について

平成29年度 特定非営利活動法人あいちNPO市民ネットワークセンター事業活動計画書

項目	No.	事業名	予定日時	回数	月別活動過程												備考	
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
協働の まちづくり	1	NPO・協働相談(定期・臨時)	第1水曜日	随時													市民活動センター 他 事務所協働推進課	みよし市協働推進課
	2	研修・交流会															市民活動センター 他	みよし市・あいネット
	3	サポートセンター・市民活動センター運営・ニュース発行	日曜日を除く毎日 土日を除く 月初め～10日まで	通年													市民活動センター	みよし市協働推進課
地域福祉	1	介護用品配布・アンケート		通年													みよし市地内	みよし市長寿介護課
	3	家族介護者交流(地域サロン)	第2水曜日	月1回													福祉センター他	みよし市長寿介護課
子ども	2	介護相談員派遣	運営:毎週水曜日 訪問:毎週月曜日	通年													あいネット事務所 各事業所・施設	みよし市長寿介護課
	1	運妻子どもの居場所(豊田市)	火曜日を除く毎日 (12/28～1/8休み)	通年													運妻ふれあい子ども 石籠	豊田市次世代育成課
防災	2	産後母子支援		通年													みよし市内	みよし保健センター
	1	地域防災活動支援 (災害から守り隊との協働)		通年														あいネット
	2	地域防災活動支援(豊田市)		随時														豊田市長支所
情報	3	地域防災活動支援(みよし市)		随時														みよし市防災安全課
	1	あいネットニュース CAMPAN団体ブログ		年1回 随時														あいネット
	2	さろんにゅーす(家族介護者交流)		月1回														みよし市長寿介護課
あいネット	3	こどもニュース		月1回(毎月 1日に発行)														豊田市次世代育成課
	1	やっばり公民館(福祉の拠点づくり)																あいネット
運営・ 組織	1	総会・理事会	総会6月 理事会=随時														あいネット事務所	あいネット
	2	組織会議		基本月2回													あいネット事務所	あいネット
	3	各事業会議・事務局会議		随時													あいネット事務所	あいネット
	4	研修		随時													あいネット事務所	あいネット